

# SDT

## 制振工学研究会通信

SOCIETY OF DAMPING TECHNOLOGY NEWS

2010年 1月号

2010年 1月 1日発行  
編集 集：会報編集委員会  
編集責任者：小白井 敏明  
担当者：立石 覚  
URL <http://www.sdt-jp.com>  
E-Mail：[sdt@mbi.nifty.com](mailto:sdt@mbi.nifty.com)

### ◇新年のごあいさつ

会長 岡村 宏

新年明けましておめでとうございます。世の中は、国内も国外もまだまだ問題点が多く、その解決に向けて「変化」が求められています。ものづくりの世界でも、制振工学単独での手法や効果が出にくい振動・音響の課題が多い中で、システムティックに、振動や音響の複合的な手法の中で制振手法をどのように見出していくかが問われています。資源の少ない日本にとって、ものづくりは重要であり、これからのものづくりの「変化」に適合するよう会員の皆様と力を合わせてがんばって行きたいと考えます。本年もよろしく願いいたします。了

2010年1月（記：岡村 宏）

### ◇お知らせ

・本通信により会員各位に有用な情報を提供すべく毎月の編集会議では頭を悩まして議論しております。つきましては、ここで取り上げてほしい事がございましたらそのご要望を次のアドレスまで是非お寄せください。

E-MAIL:[yamagu@pc.highway.ne.jp](mailto:yamagu@pc.highway.ne.jp)

### ◇研究会の行事案内

開催日時	開催地・会場	名称	内容
10. 01. 27 13:00~17:00	合成樹脂技術協会5F. 会議室	事例研究発表会	材料関連研究発表会 (詳細は裏面)

### ◇委員会・分科会・WGの予定

開催日時	開催地・会場	名称
10. 01. 22 15:00~17:00	リウ(株)会議室	会報編集委員会
10. 02. 05 13:00~17:00	スペースクリス(株)2F. C&D会議室	計測・評価技術分科会、粘弾性特性比較検討WG

### ◇会員消息 (2010年 1月 1日現在)

○会員数		○入会者
法人会員	35 社	-
個人会員	59人	島田 修 (テクノサービス(株))

### ◇関連学協会等の行事案内

開催日	開催地・会場	名称	主催団体及び内容
10. 01. 13-14	東京大学山上会館 (東京都・文京区)	第21回高分子ゲル研究討論会	高分子学会 <a href="http://www.spsj.or.jp/">http://www.spsj.or.jp/</a>
10. 01. 15	日本材料学会3F会議室 (京都市・左京区)	第68回高分子材料セミナー PP材料の力学物性と物性改良技術の最前線	日本材料学会 <a href="http://www.jsms.jp/">http://www.jsms.jp/</a>
10. 01. 19	建築会館ホール (東京都・港区)	第28回環境振動シンポジウム 環境振動における予測・シミュレーション技術の最前線	日本建築学会 <a href="http://www.aij.or.jp/aijhomej.htm">http://www.aij.or.jp/aijhomej.htm</a>
10. 01. 21-22	中央大学・後楽園キャンパス (東京都・文京区)	外(内)部音響解析実習基礎セミナー(座学、実習)	日本モーダル解析協議会 <a href="http://www.modal.jp/">http://www.modal.jp/</a>
10. 01. 21-22	大阪科学技術センター8F中ホール (大阪市・西区)	第306回講習会 事例に学ぶ流体関連振動(トラブル事例相談会付き)	日本機械学会 <a href="http://www.jsme.or.jp/">http://www.jsme.or.jp/</a>
10. 01. 25-26	日本機械学会会議室 (東京都・新宿区)	講習会 応力・ひずみ測定の基礎と応用	日本機械学会 <a href="http://www.jsme.or.jp/">http://www.jsme.or.jp/</a>

(裏面に続く)

## ◇事例研究発表会のお知らせ

利用技術分科会事例研究ワーキンググループ  
主査 山口道征

下記の通り、事例研究発表会を開催いたします。ふるって参加いただくようご案内申し上げます。

記

- \* 日時 2010年1月27日(水) 13時～17時
- \* 場所 東京都中央区銀座2-10-18 東京都中小企業会館内5F.  
(社)日本合成樹脂技術協会会議室

**発表タイトル：**制振性を有する新規水添スレン系熱可塑性エラストマー(S. O. E.™)

**発表者：**荒木祥文(旭化成ケミカルズ(株))

**概要：**新規に開発した水添スレン系エラストマー<S. O. E.™>は、一般的な水添スレン系熱可塑性エラストマーであるSEBS(<TUFTECTM>(旭化成ケミカル製))に対して、分子中のソフト(軟質)相等を改良することで、SP値を高めて、エンブレ等の極性材料との相容性や接着性、フィルターの受容性、また、 $\tan \delta$ ピーク温度を室温付近に高めて、制振性、衝撃吸収性、耐キック、耐表面摩耗性あるいは肌触り感、さらには、不飽和基の量を最適化して、架橋(加硫)性(L609とL611)を改善したエラストマーである。本発表では、<S. O. E.™>の制振性に焦点をあてて紹介する。

**発表タイトル：**<アクリルゲル>の応用による「吸音シート」の開発

**発表者：**久保田優典(共同技研化学㈱)

**概要：**

1)ゲル(アクリル系高弾性樹脂)の活用

- ゲル状組成体は、その持つ物理特性(制振・緩衝性、粘着性、追従性、防水性など)並びに光学特性(透過・反射、屈折、導光等)が見直され、工業製品から電気・電子電材用途へと広く採用され始めた。
- 人工筋肉などの医用分野、精密制御機器の周辺分野、太陽光発電などの環境エネルギー、蓄電分野、携帯電話・PC液晶(OEL)TVなどの商品へと応用範囲は多種・多様に亘り、他の素材との組み合わせで求められる機能用途に合わせた複合効果が得られている。

2)当社の開発製品

- 当社は粘着両面テープ製造メーカーとして30年に亘り工業用素材を市場提供しているが、2006年の<アクリルゲル>製法特許の出願後、LCM表示保護体(商標<メークンゲル>MayCleanGel:五月晴れのようなゲル)として大手電気・電材メーカーへ採用開始された。この理由は可視領域(400~700nm)90~93%の高透過率更に、400nm以下の紫外線領域でも他社類似品にない特性を有し、粘着を含めた制振・緩衝の複合特性を生かし、製品の軽量化・薄膜化が実現できたからである。

3)機能を生かした製品素材

- <メークンゲル>の素材と「分子勾配膜」技術を応用し、当社は導電・放熱・電磁波シールド・吸音性能を有した製品を開発・製造している。

4)事例報告の内容

- 電気・電子電材用途ではなく、主に物理特性を生かす工業材料用途(建築・機械・自動車の分野)に期待される吸音シート(商標:スパー-Q音)の開発背景と、積層素材として<メークンゲル>及びアルミ不織布の主な特性を含めて報告する。

**発表タイトル：**アクティマー®ジェルの特徴と用途開発

**発表者：**田邊良一(リケンテクノス(株))

**概要：**リケンテクノスが開発した超軟質熱可塑性エラストマー「アクティマー®ジェル」は、常温では液体に近い圧力伝達特性を有し、汎用的な押出成形機、射出成形機を用いた成型加工が容易で、リサイクル性にも優れた熱可塑性エラストマーである。また、機能性フィルターの添加等により制振、熱伝導、粘着、発泡といった特性を付与することが出来る。本発表では、種々の特長から様々な用途への展開が期待されるアクティマー®ジェルの特長と期待される用途について紹介する。

事務窓口	〒101-0061 東京都中央区銀座 2-10-18 社団法人 日本合成樹脂技術協会
	Tel. 03-3542-0261 Fax. 03-3543-0619
	URL <a href="http://www.sdt-jp.com">http://www.sdt-jp.com</a> E-Mail: <a href="mailto:sdt@mbi.nifty.com">sdt@mbi.nifty.com</a>